

最前線で活躍するスタッフのみなさんへ

[フロントライナー]
Frontliner

6

2026 vol.52



topics

- ① 全国安全週間が実施されます
- ② 今月のクレーム・事故事例



日本保健衛生協会

- スローガン 「多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場」
- 準備期間 令和8年6月1日～6月30日
- 実施期間 令和8年7月1日～7月7日

みんなで取り組もう！ 全国安全週間

毎年7月1日から7月7日まで、全国安全週間が実施されています。働く人の安全と健康を守り、労働災害をなくすことを目的とした全国的な取り組みです。

令和8年度のスローガンは、「多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場」です。年齢や経験に関係なく、働く私たち全員で安全な職場環境づくりを進めることの大切さを表しています。

労働災害の約半数が「転倒事故」

ビルメンテナンス業では、労働災害の約半数が「転倒事故」です。令和6年は、休業4日以上労働災害3,743件のうち1,825件(48.8%)が転倒災害でした。濡れた床や段差、清掃用具によるつまずきなど、日常清掃には多くの危険が潜んでいます。

「慣れている作業だから大丈夫」ではなく、「慣れている作業ほど注意する」ことが災害防止につながります。

日常清掃作業で起こりやすい労働災害

モップ掛けをした床で、滑って転倒した

対策

- 後ろに下がりながらモップ掛けをする
- 固く絞ったモップを使用する
- 拭いた所を作業員自身が歩かない



両手に物を持って階段を下りたときに転倒した

対策

- 両手に物を持って階段移動しない
- 階段移動するときは、必ず片手で手すりをつかむ



重いゴミ袋や資材を持ち上げて腰を痛めた

対策

- 悪い姿勢(前かがみや中腰、ひねり)で荷物を持ち上げない
- 荷物を持ち上げるときは、膝をつき、背筋を伸ばし、荷物を体に近づける
- ※ 軽い荷物でも腰を痛めることがある



作業中に熱中症を発症し、めまいを訴えた

対策

- こまめに水分と塩分を補給する
- バランスのよい食事と十分な睡眠をとる
- 下着は吸水性や速乾性に優れた素材を選ぶ



2026年5月度

● クレーム件数 0件（2026年累計 0件）

● 事故件数 1件（2026年累計 3件）



事例 壁面をモップで拭こうとしたところ、壁掛け時計が落下してしまった

発生状況	清掃スタッフが壁面を拭くためにモップを当てたところ、モップは壁掛け時計に直接触れていなかったものの、時計が落下して破損した。
発生原因	モップが時計に触れていなかったため、落下の直接的な原因は特定できませんでしたが、作業方法や注意点については以下の対策のとおり行うものとします。
対策	<ul style="list-style-type: none">● 壁面清掃の作業方法<ul style="list-style-type: none">① 作業前の確認<ul style="list-style-type: none">・清掃場所周辺に作業の妨げとなるものがある場合は、事前に移動または養生しておく。・壁面に掲示物がある場合は固定状態を確認し、不安定なものは確実に固定するか、一時的に取り外しておく。・通行者がいる場合は「清掃中」の表示を設置し、第三者が近づかないようにする。② 壁面清掃<ul style="list-style-type: none">・壁面の上部から下部へ向かって清掃する。・モップを両手で持ち、軽く押し当てながら清拭・除塵する。・一度に広範囲を清掃しようとせず、少しずつ移動しながら作業する。③ 掲示物周辺の清掃<ul style="list-style-type: none">・掲示物周辺を清掃する際は、作業速度を落とし、モップが当たらないよう注意する。・落下や破損を防ぐため、掲示物をモップで直接清掃しない。● 注意点<ul style="list-style-type: none">・背伸びしたり、身体をひねったり、腰を反らせたりせず、安定した姿勢で作業する。・無理に手を伸ばさず、作業範囲に合わせて立ち位置を変える。・モップは両手でしっかり持ち、片手で操作しない。・安全第一で、急がずに作業する。